

事業計画書

事業名	わこう銀色プロジェクト 事業
種類	(1) SDGs 推進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ) (2) 自立促進事業 (人間 豊かさ 地球 平和 パートナシップ)
1. 事業の目的	<p>①和光市が課題としている「資源ごみ分別の推進」に、高齢者が課題解決の担い手として参画し、ゴミの減量や循環型社会を目指すことを目的とする。</p> <p>和光市では、雑紙（菓子の空箱、雑誌など）が燃えるゴミとして出される事が多く、「雑紙を分別して資源ゴミとして出す」事を推進しているが、なかなか成果が上がっていない。</p> <p>②高齢者が目的や役割を持って活動する事を介護予防の取り組みにも繋げ、地域の中で生き生きと暮らす事を目的とする。</p> <p>社会との繋がりや周囲との連携を更に深め、地域での安心した暮らしが長く続けられるようにする。</p>
2. 事業の内容	<p>(1) 高齢者が新聞紙で「雑紙分別用のゴミ袋」を作り、それを課題解決の手段の一つとして活用すると同時に、課題に取り組む仲間を増やし、活動の輪を広げる。令和5年4月より和光市環境課から助言・協力を得ながら活動する事となり、ゴミ収集業者に対しても、新聞紙の雑紙分別用袋を資源ごみの日に活用する旨、環境課からの周知が済んでいる。新聞紙の分別用ゴミ袋も中に入れる雑紙も両方リサイクルできる事は確認済み。</p> <p>(2) 「雑紙分別用のゴミ袋」を新聞紙で作る「わこう銀プロサロン」を定期的開催する。地域の居場所としても位置づけ、カフェタイムでのお喋りや、表情筋や口腔のトレーニング、体操なども実施する。和光市長寿あんしん課から令和5年4月より助言・協力を得ながら介護予防の観点からも活動を進める。</p> <p>(3) 講習会を実施する。</p> <p>「新聞紙で作る雑紙分別用ゴミ袋の作り方」について地域へ出向いて講習会を開催し、課題への担い手を増やすと共に、ゴミ分別が進んでいない現状や必要性についても伝える。また、継続して参加できるように、高齢者の環境や状況などに応じて、できる事で長く関わられるよう配慮する。</p>

3. 実施計画

(1) 「わこう銀プロサロン」の定期開催

日時 第2(月)・第4(月) 13:30~15:00
場所 和光市中央公民館 調理実習室
対象 主に高齢者 (年齢制限は特になし)

(2) 講習会の実施

高齢化が進んでいる団地 民生委員 地区社協
市民活動団体 などに向け3回程度講習会を実施する他、
要請にも応じて行う

(3) 成果物の設置並びに配布

- ・和光市図書館本館の協力を得て「わこう銀プロコーナー」
を常時設置し、成果物の配布を継続的に行う
- ・設置並びに配布可能な場所の開拓

○スケジュール

時期	
7月	わこう銀プロサロン 2回 作り方講習会を開催し、担い手を増やす
8月	わこう銀プロサロン 2回
9月	わこう銀プロサロン 2回 環境課との共催で「ゴミの捨て方講座」を広く市民に向け開催
10月	わこう銀プロサロン 2回 作り方講習会
11月	わこう銀プロサロン 2回
12月	わこう銀プロサロン 2回
1月	わこう銀プロサロン 2回 作り方講習会開催
2月	わこう銀プロサロン 2回

○広報計画

- ・コロナ禍の3年程前より、和光市図書館本館に「わこう銀色プロジェクト」のコーナーを設置しており、新聞紙ゴミ袋の無料配布を継続的に実施している。このコーナーにて、チラシ配布の他、担い手募集、ゴミ分別推進などの情報発信をする。
- ・環境課 長寿あんしん課 市民活動推進課 包括支援センター 社会福祉協議会 公共施設等へのチラシ設置
- ・広報 掲示板の活用
- ・祭りやイベントでのチラシ配布
- ・ラジオ番組での情報発信

<p>4. 実施体制</p>	<p>①総括責任者 経理担当者 連絡責任者 1名 ②現場責任者 2名 ③広報担当者 2名</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わこう銀プロサロン」の運営は、有資格スタッフ2名、無資格サポートスタッフ2名で実施する ・地域へ出向いての講習会は、講師として有資格スタッフ2名、サポートとして無資格スタッフ2名で実施する ・必要に応じてボランティアスタッフへの協力を依頼する
<p>5. 事業の効果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「雑紙分別用新聞紙ゴミ袋」の作成スピードは緩やかかもしれないが、成果物の配布と同時に「雑ガミの分別推進」の必要性を発信する事で、ゴミの減量やリサイクルへの意識は高まる。 ・活動を継続させる事で、ゴミ減量やゴミ分別が当たり前の事として定着し、課題に向けて効果が得られる。 ・若い世代にはSDGsに関心を寄せる方も多いが、新聞を購読していないケースもあるため、高齢者が作った新聞紙の分別袋を若い世代が使うという繋がりができれば、課題に取り組む市民共同体として、双方が必要な存在になる。 ・高齢者が役割や生きがいを持って生活する事は、自己肯定感と共に生活の質を向上させる事に繋がる。 ・この活動をきっかけに、SDGsへの関心が高まり、自分事として考え行動する人が増える。
<p>6. 今後どのように事業を継続し発展させるか ※自立促進事業のみ</p>	

事業収支予算書

1 収入の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
助成希望額 (千円未満切り捨て)	189, 000	
自己資金	21, 264	
事業実施による収入等	0	
その他	0	
合 計	210, 264	㊤

2 支出の部

項 目	予算額 (円)	積算内訳
会場費	0	
通信運搬費	0	
旅費交通費	0	
消耗品費	141, 864	A4 コピー用紙 791 円×3 個=2, 373 インク黒 3, 509×3 個=10, 527 インク赤 3,069×2 個=6, 138 インク青 3, 069×2 個=6, 138 インク黄 3,069×2 個=6, 138 アラビック糊 50m l 197 円×3 本×50 人=29, 550 アラビック糊 400m l 810 円×2 本×50 人=81, 000
備品費	0	
委託費	0	
謝金	0	
人件費	68, 400	わこう銀プロサロン 運営スタッフ 1,000 円×2 回/月×8 カ月×2 人=32, 000 サポートスタッフ 800 円×2 回/月×8 カ月×2 人=25, 600

		作り方講習会 講師スタッフ 1,000 円/1 回×2 人 ×3 回=6, 000 円 サポートスタッフ 800 円×2 人× 3 回=4, 800 円
その他	0	
合 計 (事業費)	210, 264	㊸

収入の部の合計 (㊸) = 支出の部の合計 (㊸)